

太平洋クロマグロ

2018年南西諸島海域生まれ

加入量モニタリング速報

(第1報 2018年10月)

国立研究開発法人
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 太平洋南および九州西※¹で操業した曳縄モニタリング船※²について、夏季(7~8月)のCPUE(漁獲努力量あたり漁獲尾数)を南西諸島海域生まれの加入動向の指標として分析した。
- 2018年における夏季の曳縄モニタリング船CPUEは、2011~2017年平均の145%、前年の83%であった。
- 2018年の南西諸島海域生まれの加入量は、前年よりも下回るが、調査を始めた2011年以降では高水準である可能性が高い。

(※¹) 太平洋南は、宮崎県、高知県、和歌山県、三重県。九州西は、長崎県。

(※²) 2011年からモニタリングを開始。2018年は43隻のヨコワ曳縄漁船の操業データを使用している。

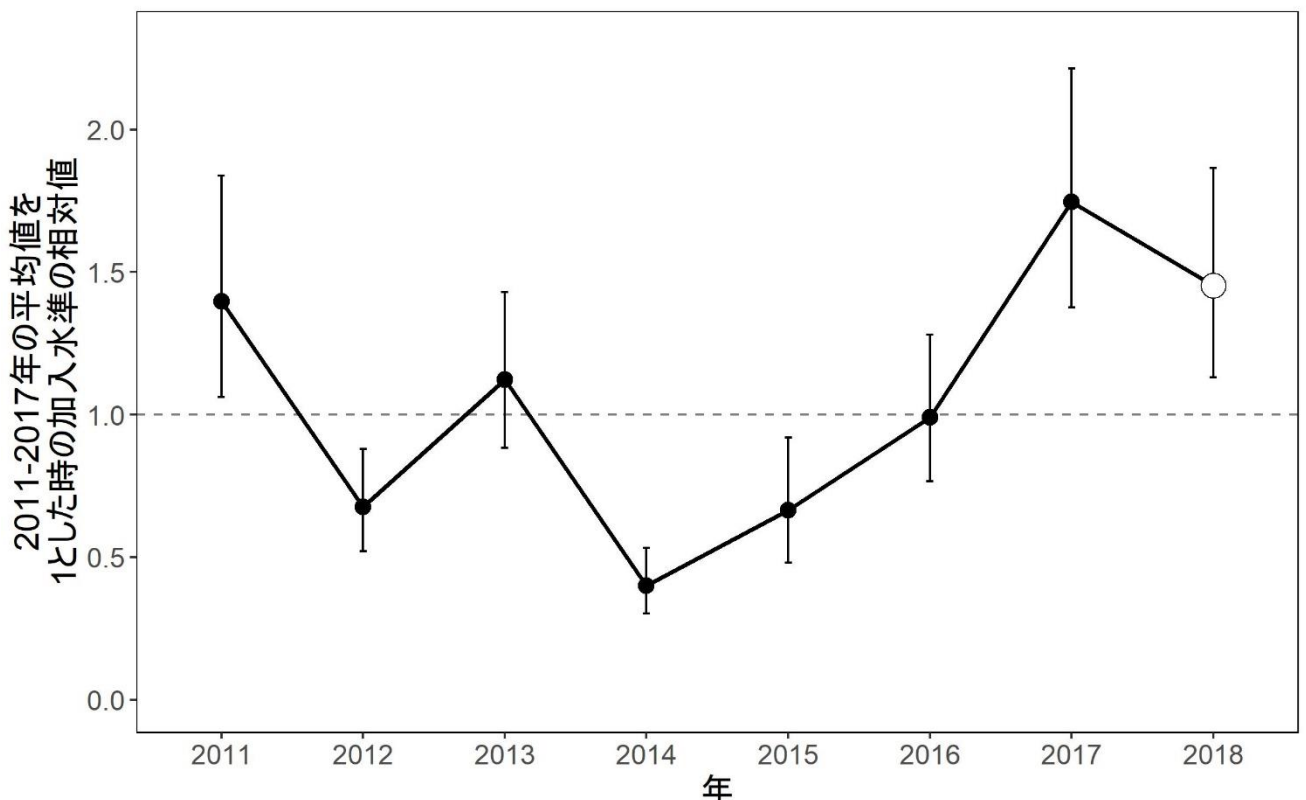


図. 2011~2017年の夏季の曳縄モニタリング船CPUEの相対値。
図中の垂線は95%信頼区間。